

3. 地下水関連施設の視察

熊本市東区の熊本市上水道健軍水源地、及び白川中流域の大菊土地改良区における地下水涵養現場を視察し、施設管理者と意見交換を行った。

3-1 熊本市上水道の健軍水源地

熊本市では日平均 220,000m³ の水道水を供給しており、健軍水源地はその約 1/4 を賄っている。健軍水源地内で最大の自噴井となる健軍 5 号井は、地下 40m の深さから、15,000m³/日（学校のプール 50 杯分）の地下水を湧出している。



写真-2 健軍水源地の取水井戸

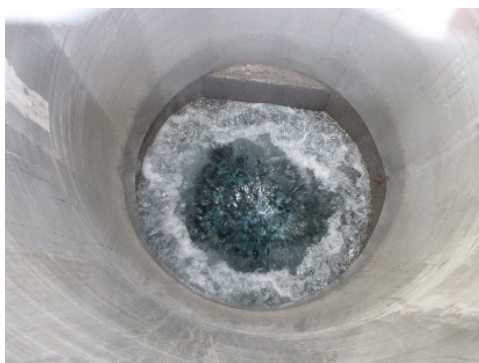


写真-3 自噴井（健軍 5 号井）



写真-4 上水道配水ポンプ施設

3-2 大菊土地改良区における地下水涵養

熊本県の大津町と菊陽町にまたがる大菊土地改良区では、平成 15 年から水循環型営農推進運動を行って

る。農家は水田転作作物の植え付け前に湛水することで連作障害を防止する一方、熊本市と協力企業 5 社は協力農家に対して、湛水期間に応じた助成金を支払っている。協力企業は自社の事業に大量の水を利用しているため、地域貢献の一環として地下水涵養に協力している。



図-2 白川流域の地下水断面図（出典：水土里ネット大菊）



写真-5 転作田を活用した地下水涵養



写真-6 水田涵養湛水事業の看板（出典：水土里ネット大菊）

4. おわりに

これまで本研究会では、水管理に関する各種法制度や、地域での水循環管理事例について情報収集し、議論を重ねてきた。今後は、具体的な制度改善に向けた提言をまとめていく予定である。今回の研究会開催に当たって、熊本県、熊本市、熊本河川国道事務所の皆様にはお世話になり、厚くお礼申しあげます。